

様式第2号（第4条関係）

供給設備の技術上の基準

（容器による貯蔵能力が1,000kg以上3,000kg未満のものに限る）

1. 保安距離	①第1種保安距離(法定16.97m・障壁設置0m) 実際距離 m 保安物件の名称 ②第2種保安距離(法定11.31m・障壁設置0m) 実際距離 m 保安物件の名称
2. 障壁	①障壁の構造 材料 寸法(高さ) cm(厚さ) cm ②扉の構造 材料 (厚さ) cm ③扉の補強 等辺山形鋼(枠) mm× mm(内) mm× mm 間隔(縦) cm(横) cm
3. 火気取扱施設との距離	①火気等の種類 火気等との距離 m ②火気距離が5m未満 障壁(材料) 高さ m
4. 滞留防止	①貯蔵設備面積 m <sup>2</sup> 法定換気口面積 cm <sup>2</sup> ②実際の換気口面積 cm <sup>2</sup>
5. 柵、塀等の設置	柵、塀等の種類
6. 警戒標	①掲示位置 ②表示内容
7. 消火設備	①粉末消火器 (A-4、B-10以上のもの 貯蔵能力1,000kgにつき1個以上) ②その他
8. 軽量の屋根等	①屋根の場合 その材料 ②遮蔽板の場合 その材料
9. 転倒防止等の措置	
10. 腐食防止置	

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。